

## 9月23日 手話言語の国際デーに合わせ 特別フォーラムとブルーライトアップを実施

### 報道関係各位

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井二丁目10-12、以下OHK）は9月23日、国連が定める手話言語の国際デーに合わせ、情報アクセシビリティに関する特別フォーラムと、OHKが本社を置く杜の街グレース周辺エリアのブルーライトアップを実施しました。

### ■実施内容

#### ①2023手話言語の国際デー 特別フォーラム～情報アクセシビリティの未来を考える～

障がいのある、なしに関わらず、あらゆる情報を受け取れるようにするために、今、求められることは？日々の経済活動から生活を豊かにするエンターテインメント活動まで“情報から誰一人取り残されない社会”の実現を目指し、6名の登壇者とともに情報アクセシビリティのあるべき未来を語り合いました。



手話通訳と要約筆記による情報保障を行いながら実施したフォーラムでは、経済界や大学、スポーツなどさまざまな立場の観点から意見が交わされました。第二部では、デフバドミントン世界選手権優勝の片山選手がデモ試合を行い、その様子を自身もろう者でアスリートである早瀬憲太郎さんがリアルタイムで手話実況しました。

全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会の倉野事務局長は「これまでろう者にはスポーツを観戦して楽しむという文化があまりなかったが、目の前で手話実況を見て感動した。健常者とろう者が一緒に楽しむことができ、手話実況という新しい文化が広がると確信した」と話し、聴覚障がいのあるアスリートが実力を競う4年に1度の国際大会「デフリンピック」が2025年に日本で初めて開催されることに触れ、OHKが取組む手話実況の可能性に期待を寄せました。



当日の様子はYouTubeOHK公式チャンネル（<https://onl.bz/R23Nk4W>）で閲覧できるとともに、10月14日(土)12:00～12:30特別番組としてOHKで放送予定です。

### ▼実施概要

日 時： 2023年9月23日（土・祝）  
13:00～【第一部 岡山で胎動するアクセシビリティ】  
登壇者 松田久（岡山商工会議所 会頭）  
那須保友（岡山大学 学長）  
13:45～【第二部 スポーツとアクセシビリティ】  
登壇者 早瀬憲太郎（デフアスリート）  
片山結愛（デフバドミントン選手  
ノートルダム清心女子大）  
平野里子（トヨタ・モビリティ基金）  
倉野直紀（全日本ろうあ連盟  
デフリンピック運営委員会事務局長）

場 所： OHK本社KURUN HALL（杜の街グレース OFFICE SQUARE 9階）  
聴講者： 約80人

## ②ブルーライトアップ企画

手話言語の国際デー啓蒙のため、世界ろう連盟が立ち上げた「手話言語にブルーライトを当てよう」というイベントに合わせ、全日本ろうあ連盟は、2022年から市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクトへの参加を呼びかけています。OHKは、その趣旨に賛同する地元企業を募ろうと、岡山商工会議所の松田久会頭に協力を依頼し、岡山市内の会員の企業や事業者約7,000社に広く呼びかけるとともに、本社・スタジオを置く杜の街グレース周辺エリアのライトアップを、昨年引き続き実施しました。



岡山商工会議所松田会頭（右）にOHK中静社長（左）より協力依頼



杜の街グレース



おかやま信用金庫本店



ホテルグランヴィア岡山

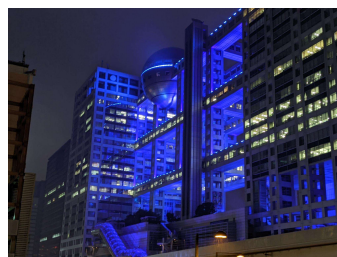


三井不動産リアルティ中国

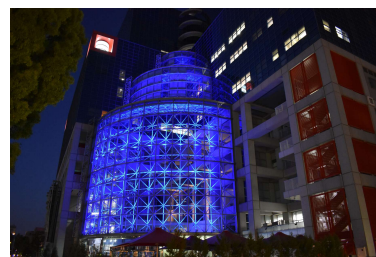


OHK杜の街本社サイネージ

また、SDGs達成に向けた取組を積極的に推進しているフジテレビ（東京都港区台場）と、関西テレビ（大阪市北区扇町）も同日社屋のライトアップを行い、岡山と東京、大阪、そして世界がつながり、手話言語を青い光で照らしました。



フジテレビ



関西テレビ

OHKは30年にわたり「手話は言語」の理念のもと手話放送を継続してきました。当日の様子はOHKのニュースや公式SNSなどで発信する予定で、世界各国の手話言語を尊重しあい、世界中のきこえない・きこえにくい人ときこえる人がひとつになる瞬間を共にし、報道機関として広く周知するとともに『情報から誰一人取り残されない社会』の実現を目指した取組をより一層推進していく所存です。



OHKは、地球規模の社会課題の解決を目指す「SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)」達成に向けた取り組みを推進するため、国連が世界の報道機関に対して協力を呼びかけている「SDGメディア・コンパクト」に加盟しています。